

35%減る予定です。将来的な経費の削減に向けて、処理や運転方法等の研究を進めたい。

■衛生費 エコハウス推進事業補助金

真下 昇 住宅のスマート化・エコハウス化のためのエコハウス推進事業補助金は、25年・26年度に比べて大幅に削減されています。この事業は寄居町エコタウン計画の初期の重要な事業とされていたもの。また、この計画の推進組織となるエネルギー事業会社へ移行するNPO法人も立ち上がる見通しがないようですが、エコタウン計画は抜本的な見直しをする必要に迫られているのではないのでしょうか。

答 弁 段階的な見直しを図っていきます。

■商工費 商工業振興事業

神田 崇 商工会職員の人件費削減などにより、商工業振興事業は大幅減額。イベントやプレミアム商品券の運営など、商工会を頼る場面があると考えますが、今年度の支援体制を伺います。

答 弁 補助金は削減されますが、商工会との連携・支援体制に変わりはありません。

■商工費 観光の誘客対策

大平久幸 金尾・風布地区には日本水、みかん園、つつじなどの観光資源があります。資源を活用した観光の誘客対策を伺います。

答 弁 観光客がリピーターとなるよう、また多くの方に紹介していただけるよう、観光資源の整備に努めます。

■土木費 コンパクトシティ形成

峯岸克明 コンパクトシティ^①形成への取り組みを伺います。

答 弁 人口減少と高齢化を背景に医療・福祉施設・商業施設・住宅・公共交通など都市構造全体を見直すため、立地適正化計画の基礎調査に取り組みます。

■土木費 農免道の整備

原口 昇 町道127号線（農免道）を「南岸道」と位置づけ、整備を進める考えはあるのか伺います。

答 弁 町道127号線については今年度、関山川にかかる橋の設計、用地買収を行います。新規の道路建設は難しいので、町道127号線を「南岸

より暮らしやすいまちづくりを目指して



道」として整備することも1つの考え方だと思います。

■土木費 （仮称）寄居PASマートIC

岡本安明 現在何%の用地取得をしているのか。また、周辺の土地利用についての考えを伺います。

答 弁 用地は全体の約74%を取得して、周辺の土地利用については、総務経済常任委員会からの提言等を受け、工業化等を進める地域に見直すべく協議を進めています。

■土木費 東上線の複線化促進期成同盟会

大久保博幸 会が結成されて年数が経過していますが、ほとんど進展が見られません。ホンダも稼

■教育費 安全・安心な給食

大平久幸 安全・安心な給食の取り組みとして、放射性物質検査や食物アレルギーへの対応を伺います。

答 弁 27年度も食材の放射性物質の測定と検査結果の公表をします。食物アレルギーについては、栄養士が保護者の相談に引き続き応じています。

■教育費 いじめ問題専門委員会

鈴木詠子 ネットいじめ等、いじめ防止のための対策が急務です。いじめ問題専門委員会の対応を伺います。

答 弁 専門委員会は、いじめの重大事態が生じた場合には対策や調査を行う機関です。専門的な知識を有する者、他関係者で構成されます。子ども目線で早めの対応をしていきます。



答弁をする花輪町長

■消防費 消防団員の新規勧誘

瀧澤 忍 消防団員新規勧誘について、町の考えを伺います。

坂本建治 町内だけでなく、町外の公共施設への運行や、夜間の運行等も考えてはいかがですか。

答 弁 タクシー事業者との業務の重複等を考慮しつつ、今後の研究課題としたいと思います。

■土木費 デマンドタクシー運行

働いた今、寄居が主体性を持って目的達成のために取り組んではと思いますが、いかがですか。

答 弁 目的達成のために鋭意努めていきます。

■消防費 消防救急デジタル無線

津久井康雄 消防施設費の備品購入の内容、消防救急デジタル無線携帯型受令機を全団員に購入する考えがあるか。また、購入する5分団の消防ポンプ車を含め、全消防ポンプ車にスタッドレスタイヤを装着する考えがあるか伺います。

答 弁 消防救急デジタル無線携帯型受令機を寄居消防団長、副団長、各分団長用に購入します。スタッドレスタイヤの件は検討します。

■消防費 総合防災訓練

佐藤理美 27年度における総合防災訓練の内容について伺います。

答 弁 新たな取り組みとして、防災の専門家を招き、自主防災組織の代表者などを対象に避難所開設訓練や、HUG（避難所運営ゲーム）^②を導入した訓練を実施します。

平成26年度 補正予算を可決

※（ ）内の数字は現行予算に対する増減率です

減額◆補正しました

一般会計（6回目）	
2億6309万4000円（2.3%減）	
国民健康保険 ^{特別会計} （3回目）	
2734万1000円（0.6%減）	
下水道事業 ^{特別会計} （4回目）	
2870万8000円（6.6%減）	

② HUG（Hinanzyo 避難所・Unei 運営・Game ゲーム）…年齢や性別、抱える事情が異なる人が殺到する避難所。その運営について、模擬体験をととして考えるために考案されたゲームです。

① コンパクトシティ…徒歩で移動できる範囲を生活圏としてとらえ、健康的で住みやすいまちづくりを目指すという考え方。学校や病院などさまざまな機能を街中心部にコンパクトに集めることで、効率的なインフラ整備なども期待できます。